

や 広報たしる

No.290

昭和52年11月1日

田代町総務課編集



秋の祭典終る

恒例の町民運動会は十一月三日

秋晴のもと、新しい中央グラウンド
で総勢三千余人が参加し盛大に開
催されました。

これからは、朝晩の冷えこみは日
一日ときびしくなります。取り入
れや冬の準備に多忙な毎日体には
気をつけましょう。

十一月の行事

- 14日(月) 小組合及び技連合同研修
- 16日(水) 胃集団検診
- 17日(木) 子牛セリ市
- 19日(土) 婦人会長研修旅行
- 20日(日) 肝付地区養蚕者大会
- 24日(木) 一般住民レントゲン
- 25日(金) 農業委員会
- 29日(火) インフルエンザ予防注射
青少年芸術劇場

決算の収支状況

歳入決算額	13,941千円
歳出決算額	13,551
差 引	390
単年度収支	△ 947

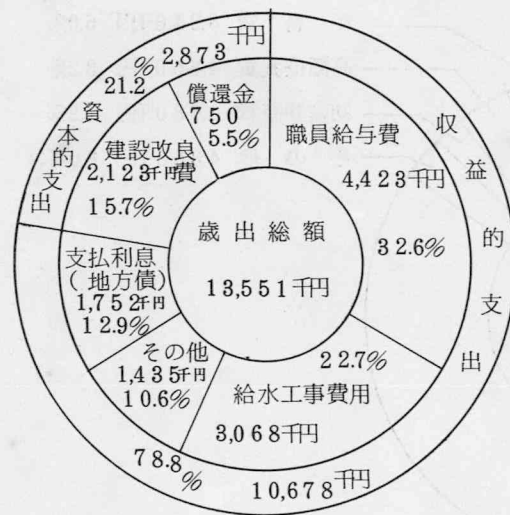
歳入決算の状況

区 分	決 算 額	構 成 比
事業収入	9,715千円	69.7%
繰越金	1,337	9.6
諸収入	33	0.2
繰入金	2,856	20.5
計	13,941	100.0

水道会計の収支の状況は別表のとおりです。歳入決算額から歳出決算額を差引いた形式収支は三九〇千円の黒字で、単年度では九四七千円の赤字となっています。

水道会計

歳 出



歳 入



資本的支出

1.建設改良費	2,123	(15.7)	
職員給与費	0		
その他	2,123	15.7	本営関係及施設改良費
2. 地方債金	750	(5.5)	起債償還元金
小 計	2,873	(21.2)	
合 計	13,551	100.0	

収益的支出

項 目	決算額千円	構成費 %	摘 要
1.営業費用	8,920	(65.8)	
職員給与費	4,423	32.6	
給水工事費	3,068	22.6	給水工事材料及賃金
その他	1,429	10.5	維持関係費用本営修繕費外
2.営業外費用	1,758	(13.0)	
支払利息	1,752	13.0	地方債借入金の利息
その他	6		
小 計	10,678	(78.8)	

性質別支出状況

昭和五十一年度
決算のあらまし

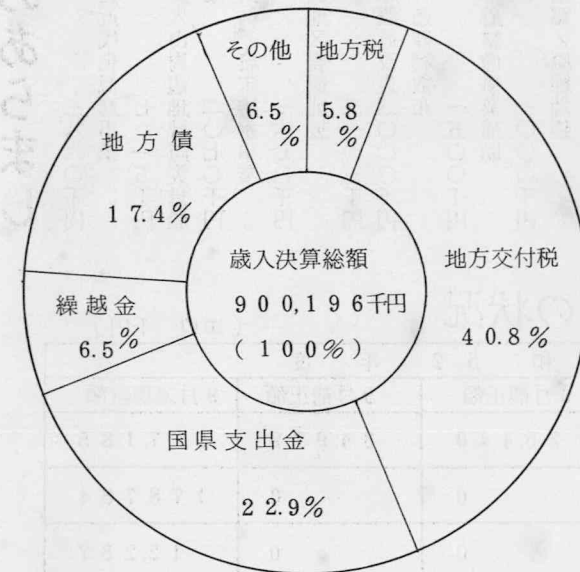
昭和五十一年度の町財政は義務的経費をはじめとする諸経費の増高によって収支の均衡を保持することが非常に困難な事態が予想されましたが、このような事態の下で引き続き地域住民の福祉の向上にとって生活関連施設の整備、教育施設の充実、農業の振興等に配慮しつつ一般行政経費については厳に抑制するとともに、重点政策に係る事業が積極的に推進されました。

(1) 決算収支の収支
一般会計の収支の状況は別表のとおりです。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた収支は六一三四八千円の黒字となりました。

(2) 町債の状況
前年度末現在高 三八七三六〇千円
本年度発行額 一五六八〇〇千円
本年度元金償還額 一四八五九千円
本年度末現在高 五二九三〇一千円

(3) 普通建設事業の主なものは次のとおりです。
新田林道開設事業

歳入の状況

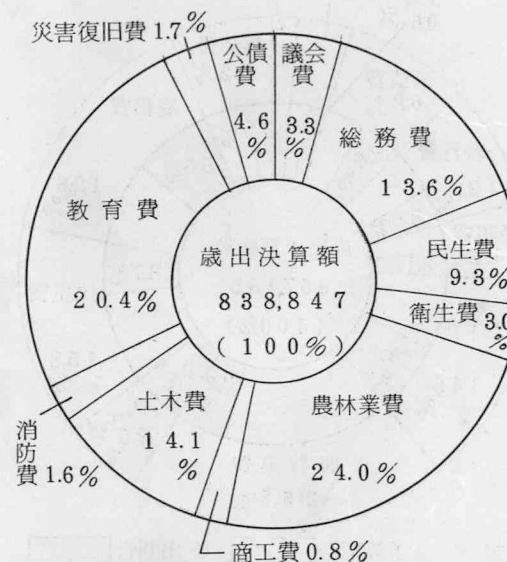


扇畑林道舗装工事
雄川農道改良工事
内水面総合対策事業
農村基盤総合整備事業
桜島降灰対策事業

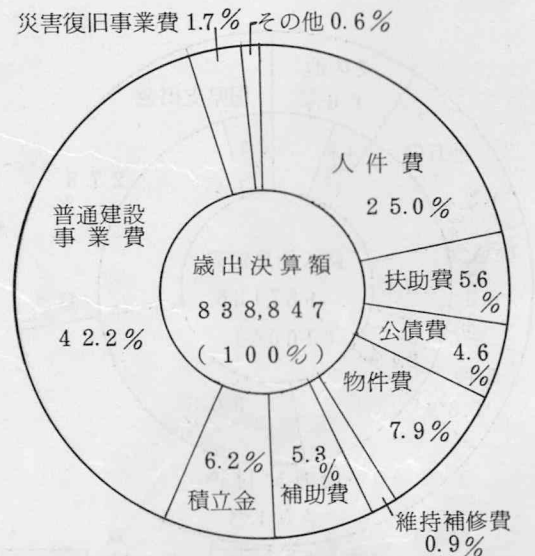
特産物(米)生産団地育成事業
肉用牛生産団地育成事業
防火水そう
大原中学校建設事業
町民運動場整備事業
花瀬公園整備事業
旧郵便局舎敷地購入
ゲートボール場建設事業
急傾斜地崩壊対策事業

歳出の状況

目的別歳出の状況



性質別歳出の状況



創設のころを中心で紹介してみたいと思います。設立されたのは昭和二十二年四月、田代中学校の分校として、校舎もなく大原小学校の教室を借りての肩身の狭い思いをしながらの授業が続けられた。

二十六年七月新校舎が落成し、ようやく落ち着いた授業がはじめられ、三十年三月には家庭科室が増築された。

大原中学校として独立し、名実ともに独り歩きをはじめたのは、昭和三十年四月からである。当時の生徒数138人、学級数3、職員5で、校長は小学校と兼務であったので、苦勞も多かったことと思われる。九月には校章も制定されている。(図柄不明)

生徒数の推移については別記のグラフを参照していただければよいが、最も多かったのは、三十七年度で189名、各学年とも二学級づつの六学級となり、四十九年頃までは横ばいで、その後、農山村の過疎の波を受け次第に減少し、現在は76名、三学級と最低を記録している。

現在地に移転したのは、三十五年十二月で、三十七年から専任の校長が配置されるようになって今日に至っている。



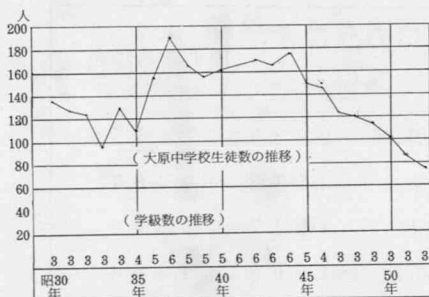
校章

大原中学校の横顔

その間、三十二年ごろから三十八年ごろにかけては、卓球部が地区大会や県大会で活躍し、大原中の名を県下にはせたこともある。

その後、四十一年には、現在も使用している理科室や技術科室が増築されたが、昨年度に本校舎の一部は解体され、近代的な二階建の鉄筋校舎が建設され生徒も楽しい学校生活を続けている。

現在の校章は、四十三年度に改定されたもので、すくすくと成長してやまない子供の姿を、伸びゆく草木の葉で象徴したものである。学校の記録には「たばこ」の葉をデザインしたものがあるが、一説には、年中青々としている大原に多い「あおきの葉をとったものだといわれており、この説のほうがふさわしいと思われる。



大原中生徒の作品
習字

一年 木尾聖美さん

天地秋
気清

大原中一年 木尾聖美



大原中校庭から大原小学校方面をのぞんでえがかれたもの。



統計図表
三年 石原伸二
窪育美
両君の合作で、本年度県の統計図表コンクールで「努力賞」

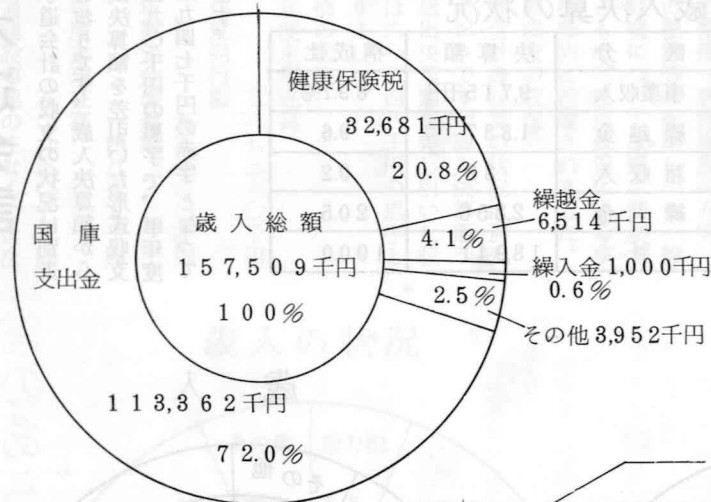
に入賞した作品です。本校は、過去に四十七年度から三年間、県の統計教育の研究指定校としての実績をもち、その成果が今日まで生き続けているのです。

国保会計

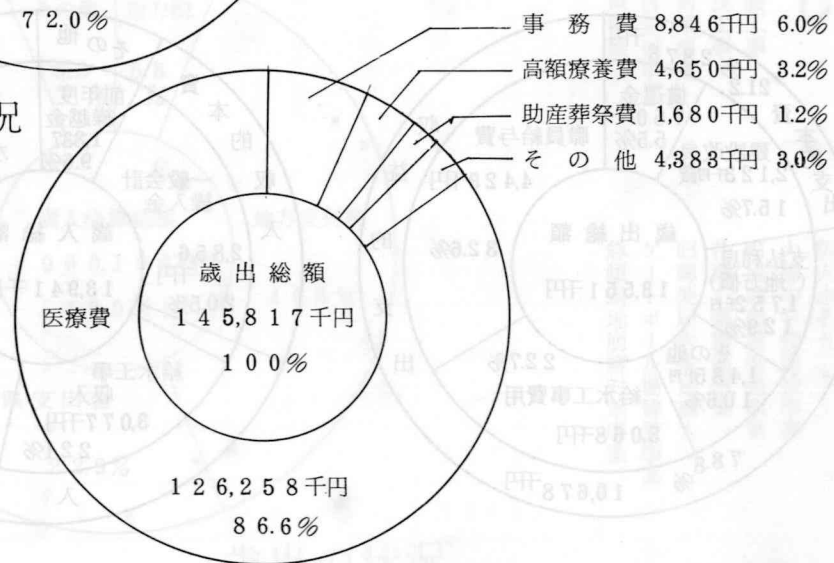
国保会計の収支の状況は、別表のとおりです。

歳入決算額から歳出決算額を差引いた収支は一、六九二千円となります。しかし、このうち国庫負担金の返納金二四二二千円がありますので、九二七〇千円の黒字となります。

歳入の状況



歳出の状況



第三回肝属地区 芸術祭

十一月二十日(日)

「肝属地区における日頃の芸術文化活動の成果を広く発表し合う機会をつくるとともに、優れた芸術文化を鑑賞する機運を醸成し、その振興を図る」趣旨で、第三回肝属地区芸術祭が来る11月20日(日)鹿屋市文化会館にて、午前九時より午後三時まで開催されます。

田代町文化協会(会長南園忠男)より、ひまわりグループ(会長小園トシ)種目として寸劇「田うえはんや節」24人。麓民踊グループ(会長河野ツヤ子)舞踊「紅花つみ唄 大西郷」11人が出演しますので、多くのみなさんの鑑賞をお願いします。

教育講習会

期日 11月16日(水)
時間 15時~16時
場所 田代小学校体育館
演題 川村純二先生
(鹿児島市美術館長)

子どもをもつおとうさん、おかあさん、家庭教育のあり方について勉強をするよい機会ですので、多数の聴講をお願いします。

国税だより

納税証明の請求は早めに建設業の登録を更新するとき、工事指名を受けたとき、銀行に借入の申込みをするとき……、こんなときに必要になるのが「納税証明」です。

「納税証明」は、請求があればいつでも発行しておりますが、所得税の確定申告の時期のように、事務が混雑している時期には、即座に発行できかねる場合もあります。提出期限に間に合わないよう「納税証明」の請求は早めをお願いします。

「まほうのヨーグルト」

日本児童演劇協会主催、文化庁、県教育委員会、田代町教育委員会後援による児童演劇が次のとおり開催されることになりました。一般の方々多数の観劇をお願いします。

とき 11月29日(火)
10時~12時
ところ 田代小学校体育館
入場料 無料
劇団名 人形やかたばい
題名 まほうのヨーグルト (大阪市)

季節の話題

この季節、意外に手間のかかるのが庭の手入れです。落葉のシーズンでもあり、掃除に余念はないことと思いますが、小さな小さな雑草が生えているのに気づくことでしょうか。このままにしておくと霜にも、雪にもめげずに成長し、春にはすっかり根を張ったシタタカなものになってしまします。夏から秋に結実したものが芽を出した今なら根も浅く簡単に取れるのです。

奥花瀬ニジマス音頭



一、田代花瀬を
東に一里
行けば氷ぐよ
ニジマスが
奥の花瀬の
せせらぎに
せせらぎに

二、赤い木の葉を
落とすな
奥の花瀬の
見せどころ
釣ったニジマス
落とすまい
落とすまい

三、奥の花瀬に
塩焼きにおい
釣ったじまんの
花が咲く
酒もうまいぞ
歌もでる
歌もでる

かり取り除くようにしましょう。庭木がすっかり葉を落したところでむだ枝も切りたいたいところ。気温が低くなって水分の吸上げも少なくなっているのので枝を落しても樹木が痛まないわけです。また庭土の質、樹木の種類にもよることですが、一般的には春と十一月中旬くらいまでが植えかえの時期といわれています。

おしらせ

年末はし尿のくみ取りが混雑しますので早目に申込んでください。

えかえをまずすませ、それから冬中をかけて枝おろし、雑草抜きをしてはいかがでしょう。また雪の多い地方なら、枝のささえ木をするのもこの季節です。すっかり葉がなくなり、カラッと明るくなった庭で集めた落葉を燃やす。風も弱くたちのぼる煙がゆっくり流れて秋の深まりを感じずにはいられません。

人口のうごき

10月1日現在

	基本台帳人口	推計人口
男	2,339名	2,172名
女	2,578	2,484
計	4,917	4,656
世帯数	1,509	1,464

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

